



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

No.157 2026年9月号

倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60
TEL 086-444-3212
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



左から小幡主任、原田主幹、岡野 PT、鍛本院長、筆者

【倉敷市の取り組み】
このたび、倉敷市健康長寿課地域包括ケア推進室より原田様と小幡様が来訪され、今後の介護予防に関する取組についてご説明いただきました。2040年に向けて、医療や介護、生活支援を必要とする85歳以上の方が大きく増えることが予想されています（図1）。こうした変化の中で、「住み慣れた地域で、安心してイキイキと暮らし続けられる仕組みづくり」は、ますます重要になっています。

倉敷市健康長寿課地域包括ケア推進室より来訪

市民が住み慣れた地域でイキイキと暮らせるための地域づくり

【イキイキと暮らすための目標づくり】

倉敷市では、昨年度から、介護予防の取組の充実に向け、「リハ職同行訪問アセスメント」の導入や「健幸アップ教室」の活性化について検討する会議を開催しています。「リハ職同行訪問アセスメント」とは、高齢者支援センター職員とリハ専門職が、生活上の困りごとを抱える高齢者のご自宅を訪問し、一緒に生活の様子を確認しながら課題を整理したうえで、元の生活を取り戻すための助言を行う

事業です。また、「健幸アップ教室」とは、リハ専門職から個別の支援を受けながら、短期間で介護予防につながる習慣を身につけ、元の生活を取り戻すことを目指す事業です。

当事業所は「健幸アップ教室」を開催しており、倉敷市が主催する会議に参加して、介護予防の取組の充実に向けた検討を共に進めています。このたび、会議への参加をきっかけに、「健幸アップ教室」の活性化に向けたモデル事業の実施について、協力の依頼を受けました。

倉敷市のこれからの姿（人口構造の変化）

●医療、介護、生活支援ニーズが高まる85歳以上の人口は、2035年がピークの見込み。2025年から2035年にかけて、急激に増加する。一方で、生産年齢人口は今後減少し続けていく。

【推計】人口（2020年を100とした場合）



図1 2040年に向けた人口構造の変化（ピークは2035年）

【これからの期待】

当事業所では、これまで病院内で完結する「建物丸ごとリハビリ」から、地域全体で支える「地域丸ごとリハビリ」と活動を広げたいと考えてきました。今回の提案は、その実現に向けた大きな一歩になると感じ

倉敷中央病院・心臓血管外科の新たな主任部長がお見えになりました

7月3日、倉敷中央病院心臓血管外科主任部長 平尾慎吾医師と地域医療連携室竹内様が来訪されました。当院は鍛本院長、山田副看護部長、連携室主任中曾が対応しました。

た。今後ますます連携が重要になることを感じています。（医療福祉相談・連携室 主任 中曾真知子）



倉敷中央病院平尾主任部長（中央）とご同行された地域医療連携室の竹内様（左）

ています。病気や障がいそのものをなくすことはできませんが、「生きていてよかった」（QOL）、と思える毎日を支えることはできます。これまで積み重ねてきた経験を

活かし、倉敷市の新しい取り組みに少しでも貢献できるように努めてまいります。（コープリハビリテーション病院 リハビリテーション科 科長 佐藤雅昭）

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。



互いに笑顔の利用者様と実習生

老健あかね通所リハビリテーションでは、6月4日から4日間、倉敷中央高校福祉科の2年生2名の介護実習を受け入れました。利用者様との対応の仕方を学ぶことを目標とされており、初めは緊張して話し掛ける事が難しい様子でしたが、次第に積極的にコミュニケーションを図り、お互いに笑顔が増えていきました。入浴介助に入ってもらった際は、洗髪や洗身介助を行ってもらいました。利用者様に気持ち良く入浴していただくことと自分で出来る事を増やしてもらう事の両面の視点で



利用者様と実習生が積極的にコミュニケーション

倉敷中央高校福祉科 介護実習
自宅生活を支える視点を持ってもらいました。

関わってもらいました。また、通所リハビリテーションの特徴的な送迎業務にも同行し、利用者様の家庭環境やご家族の方との情報共有、体調確認について学んでいました。1日の終わりには、振り返りの時間を設け、その日に学んだことや、疑問に思ったことを聞き取り、次回への課題の確認を行いました。通所リハビリテーションの特徴や役割を学び、経験することを通して、次の実習でも自信をもって頑張っていきたいと思います。(老健あかね 通所リハビリテーション 責任者 山本 武範)

7月7日～8月5日までの18日間、岡山ビジネスカレッジ2年生の2名が介護実習のため老健あかねに来られました。ネパール出身の学生は漢字も書けず語学堪能で明るくいつも笑顔で利用者様に挨拶をする姿が印象的でした。また日本人の学生も、初めは移乗・オシメ交換・食事介助などの実践は以前の実習まではしていなく不安を抱えていましたがスタッフと一緒に実施・指導することで、頑張る姿が学ばうとしていました。老人保健施設での在宅復帰に向けての支援・生活援助に介護福祉士が専門職としてどのようなサービスを提供しているか、学校では学ぶことの出来ない利用者様とのコミュニケーションを学べたのではないかと思います。実習後半ではレクリエーションを学生が企画し、担当利用者様や他利用者様

岡山ビジネスカレッジ
介護福祉科 介護実習
利用者が退所後も自分らしい暮らしを続けられるように



レクリエーションを学生が企画・実施

を交え楽しい時間を過ごし、手作りのプレゼントを渡して利用者様も笑顔でとても喜んでいました。利用者様が退所後も自分らしい暮らしを続けられるようにあかねで学んだ介護技術はもとより利用者様のために何ができるかを考えられる介護福祉士になってくれると思います。(老健あかね 介護福祉士 岡部 弘之)



〇お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212(代表)
受付時間 平日 9:00～16:30
土曜日 9:00～12:00
(日祝・年末年始を除く)
〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹 館 勝 人

診療表						
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30～12:00 [086-444-3212]					老健あかね [086-446-6541]	
	外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビ	短期集中 健康アップ 教室	訪問リハビ
診療時間	午前 9:00～12:30	14:30 ～ 15:00	午後	9:00 ～ 16:50	9:30 ～ 11:00	9:00 ～ 16:00
月	9/14 中角 (整形外科) 本田			○		○
火	宮本 本田	○ (予約制)	滝本 (予約制)	○		○
水	飯塚			○		○
木	太田		滝本 (予約制)	○		○
金	渡辺 本田			○		○
土					○	○
医療福祉相談・連携室						
相談 受付時間	平日	9:00～12:00 13:30～16:30				
	土曜日	9:00～12:00				
	日・祝日	休み				



老健あかね
看護師
平野 満 恵



コープリハビリテーション病院
栄養科 調理員
難波 雅 美



老健あかね通所リハビリテーション
看護師
大野呂 レイカ



老健あかね
介護福祉士
須藤 夏 希

新入職員紹介